

事務事業評価表(既存事業)

コード 13-4-2	事務事業名 絵本と子育て事業の推進	所管部課 生涯学習部中央図書館					
事務事業の概要	事務事業の目的 子どもたちの読書離れが危惧される中で、事業を通じ本好きな子どもに育つ動機付けをし、また子育てに大切な親子のスキンシップ・語りかけを絵本を通して支援することを目的とする。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)学習活動の推進(創3-2) (主要施策)子どもの読書活動の推進					
	実施内容、実施方法 3・4ヶ月児健康診査の時に絵本、本のリスト、バック等を配布し、絵本の読み聞かせや図書館利用の説明を行う。	根拠法令等 西東京市図書館絵本と子育て事業実施要綱					
	事業開始時期 平成15年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					
評価指標の設定	活動指標名 開催回数	活動指標の考え方(定義) 健康診査の年間実施回数(40回)					
	成果指標名 参加人数	成果指標の考え方(定義) 受診者の参加人数(健康推進課母子保健係が算出した受診予定者1,700人)					
事務事業データ			単位	14年度	15年度	16年度	17年度
	事業費(A)			0	4,370	3,295	2,957
	国庫支出金		千円				
	都支出金						
	地方債						
	その他					2,313	
	一般財源				4,370	982	2,957
	所要人員(B)		人		0.15	0.17	0.17
	人件費(C)=平均給与×(B)		千円	0	1,241	1,416	1,416
	総コスト(D)=(A)+(C)		千円	0	5,611	4,711	4,373
	単位当たりコスト (E)=(D)/(開催回数)		千円	0	170.03	117.77	
	歳入		千円				
	活動指標	目標値	回			40	40
		実績値	回		33	40	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	人			1,700	1,700	
	実績値	人		1,183	1,450		
成果指標	目標値						
	実績値						
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	事後アンケートの結果は、よいとの評価が96%(「大変よい」68%「よい」28%)。内容は「絵本の配布」90%、「読み聞かせの実演」61%、「読書相談」39%(複数回答)					
	国・都・他市・民間等 における類似事業	全国648自治体で実施されている(2004年6月現在)					
	運営上の制約条件・ 外部要因等						

コード 13-4-2	事務事業名 絵本と子育て事業の推進	所管部課 生涯学習部中央図書館
---------------	----------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	実績値は目標数の86% 利用者アンケートの調査結果でも満足度が高い。 図書館登録者の0～2歳児の登録者数が増加している。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	事業の継続が重要である。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	サービス供給量とニーズのバランスはとれている。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	図書館HP、健康推進課発行資料等での情報提供。健康診査の受診者全員に声かけをしている。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現在行なっている絵本の頒布については、今後の動向を見て見直す。

17年度における改善点	事業参加者に対するバックアップとして、図書館での乳幼児対象のおはなし会の充実を図る。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。